

三四会横浜支部

(49) 林保良(50) 相当宮本 雅美香(68) 相当玉井博修
(51) 高橋伸(52) 堀内 仁(71) 内田尚哉(72) 鈴木
行雄(52) 増田純一(53) 橋 竜司(73) 高木英恵(74) 高
本光正(54) 成松芳明(54) 田礼子(74) 宮尾直樹(74)
久保内光一(55) 吉岡政洋 相当 原智(75) 津村和夫
(56) 相当 竹中信夫(57) 相 相当 小林絵美(76) 相当 原
当 中村薫(58) 小柳貴裕 (76) 藤健吾(78) 中川敦夫(78)
(59) 山田秀裕(60) 小川健 高宮義弘(81) 堀内孝一
二(60) 相当 古川智洋(61) (82) 相当 大久保匡(82) 清
掛札敏裕(62) 竜崎崇和 (82) 相当 水野裕也
(62) 青木類(62) 頼母木洋 水英徳(84) 相当 水野裕也
(62) 相当 伊藤大輔(63) 齋 (86) 熊谷宣子(90) 小松田
藤寿昭(63) 徳納健二(63) 明里(90) 山田万里恵(90)
山下方也(63) 安藏慎(64) 江藤美菜実(91) 吉永怜史
祝田靖(65) 野崎博之(66) (91) 成松英俊(91)
森厚夫(66) 武田龍太郎 敬称略
(66) 相当 石附知実(67) 麻 祝田靖(65) 回 記

平成24年度三四会横浜 同様の盛大な総会となっ
支部(横浜三四会) 総会 だ。

が、11月21日(水) 横浜 八十島会長からの「本
駅西口ベイシエラトンホ 会は三四会各支部中会員
テル&タワーズで開催さ 数が最多であるが、会員
れた。八十島唯一会長 間の親睦と他支部との交
(産婦37回) 就任ととも 流を目標に、慶應の医師
に、「新生横浜三四会」 としての自覚と矜持を持
として6年前に勤務医・ つよう努力する」という
開業医からなる幹事団 挨拶に始まり、戸山塾常
(26名) を構成し、70 任理事からは医学部創立
0名を超える会員全員参 100周年を前に新棟建
加を目標とした会を企画 設計画とそれに向けての
してから、6回目の総会 寄付について、三四会長
である。当日は戸山芳昭 からは昨秋の連合三田会
慶應義塾常任理事・末松 での三四会の取り組みに
誠医学部長、比企能樹三 ついて、医学部長からは
四会長・数野隆人藤沢三 最近の卒業生である90・
四会会長の各主賓のほ 91回生がいかに頑張っ
か、734名中121名 学生生活を謳歌したかに
(開業医52名、勤務医69 ついてお話があった。庶
名)の会員が集い、来賓 務・会計報告の後、20
や応援指導部まで含める 09年ノーベル化学賞を
と131人が集う、前回 受賞された根岸英一博士

による、「Magical power of transition metals as catalyst」についてのご 講演を拝聴した。なお博 士と神奈川県立湘南高校 同窓で、2年長年の八十 島会長が座長をされた。

根岸先生は、根岸カッ プリングと呼ばれる有機 化合物の合成に貢献され たことで高名であるが、 その方法は元素としてパ ラジウムを用いて触媒と し、有機化合物の合成を より早くより高率に行わ れるようになったとされ る。湘南高校から東京大 学に進まれ、帝人に入社 された後フルフライトで 米国に留学され、ホウ素 を触媒として有機合成を 行う研究の最前線におら れたパデュー大学のプラ ウン教授(1979年ノ ーベル化学賞受賞)に師 事し、米国で師を超える 研究をされた。我々医師 が自身の研究生活で味わ った苦労と重ね合わせ て、先生のノーベル賞に 至る並々ならぬ努力が、 非常に感慨深かった。ま た先生は多方面でのご講 演をされておられるが、 会により講演内容を変え られている由、今回は聴 衆が医師であることから 講演の難度が高くなった ことで、ご研究内容の詳 細な部分まで理解するの が大変であったが、根岸 カップリングにより我々 に身近な薬品の製造が容 易になっていることが解

り、大変意義あるご講演 であつた。近年日本から の留学生が減少する傾向 に有るが、米国の研究シ ステムを学ぶことは大変 有意義であり、特に若い 医師たちに対して、言葉 の問題を考えれば少なく とも1年以上の海外留学 を目指して活動するよう お勧め下さり、彼らにと っては大変励みになった ことであらう。

講演後、三田塾監局よ り拝借した大塾旗を仰い で、塾応援指導部員の下 塾歌斉唱を行い、能勢亨 先生34回による乾杯の ご発声で開宴した。20回 台の大先輩から91回の新 卒研修医まで、老若男女 勤務開業の別なく集い、 語らい、飲食し、楽しい ひと時を過ごすことがで きた。前回から研修医に 対しての会費の割引を行 い、その効果が表れたた めか若い層の出席者が増 え、若い熱気に包まれた 賑やかな中に華やかな宴 であつた。

締めとして、2名のチ アリーダーによる華麗な チアダンスと、2名の応 援指導部の指揮による応 援歌「若き血」「チャン スパターン」「三色旗の 下」「丘の上」「慶應讃 歌」を、全員で肩を組み ながらメドレーで歌い、 一同大いに盛り上がり、 興奮冷めやらぬうちに散 会となった。



出席者：八十島唯一会長 (37) 根岸英一夫妻 戸山 芳昭常任理事(54) 比企 能樹三四会会長(37) 末 松誠医学部長(62) 数野 隆人藤沢三四会長(43) 金井眞(28) 末舛恵一(28) 前田外喜男(29) 斎藤佳 雄(31) 能勢亨(34) 川口 龍文(35) 有森正樹(36) 石渡弘一(36) 本多虔夫 (37) 鈴木秋悦(37) 鈴木 理文(38) 野崎正之(39) 佐藤善之(41) 花岡宏和 (41) 八木禮昭(41) 朝倉 均(42) 西川武二(43) 鈴 木卓二(44) 藤山順豊(44) 森定優(44) 村井勝(46) 杉浦芳章(46) ニヶ崎安 紘(47) 木内準之助(48) 宮地清光(48) 松井久和 (49) 吉田博之(49) 吉田 民子(49) 秋山武仁(50) 黒川明子(50) 菅原信(50) 内藤政人(50) 中原克彦 (50) 鈴木彰(51) 森井誠 二(52) 渡辺知雄(52) 石 川廣記(53) 中村修三(53) 増田純一(53) 吉井宏(53) 神谷知至(53) 中村恒夫 (54) 鈴木隆(54) 久保内 光(55) 中野眞佐男(55) 前澤眞理子(56) 永田博 司(56) 内田伸弘(57) 高 松研(57) 吉村慎一(57) 城裕之(58) 石原淳(58) 山下真紀(58) 相当 嶋田 昌彦(58) 相当 中島史雄 (59) 藤井芳明(60) 三角 隆彦(60) 宮田博(60) 小 松弘一(61) 鎌田修博(61) 中島洋介(61) 川浦光弘 (61) 川村真理(61) 相当 山下行雄(62) 吉田宏(62) 田口暢彦(62) 小西康博 (62) 三谷和彦(64) 江端 広樹(64) 千葉和宏(64) 長島敦(64) 相当 鈴木孝 司(66) 白田修二(67) 畑 康樹(67) 後藤淳(67) 河 原由恵(68) 麻雅美香(68) 相当 小山田和弘(69) 安井信隆(69) 秋葉靖雄 (69) 松田洋人(69) 相当 倉田忠宣(70) 各務宏(70) 吉津晃(71) 相当 飛驒麻 里子(72) 脇田哲矢(72) 相 当 陳健綱(72) 相当 岡 沢啓(73) 関博章(74) 川 口正春(74) 相当 吉井毅 (75) 井上芳正(75) 荒木 康智(76) 松村紳一郎(76) 相当 中下学(76) 相当 川崎俊樹(80) 田村高越 (81) 石田勝(81) 藤岡正 人(81) 大西達也(82) 古 川満(82) 持丸佳之(82) 蔵本哲也(83) 相当 松村 聡子(83) 相当 四家達彦 (86) 相当 福本桂賢郎(87) 岩佐尚美(87) 相当 島田 理子(88) 佐藤温子(88) 鈴木成尚(88) 大濱玄(88) 相当 寺坂幸倫(89) 國 見洋光(90) 小林香織(90) 長谷川哲雄(90) 谷英典 (91) 大澤一郎(91) 宮本 佳尚(91) 平出貴裕(91) 宇井理人(91) 応援指導 部4名 計131名 文責 久保内光一(外科 55回)